

---

# レディアントマイソロジー 2 ～小さなギルドの物語～

月原静

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

レディアントマイソロジー2～小さなギルドの物語～

### 【Nコード】

N0748I

### 【作者名】

月原静

### 【あらすじ】

グラニデにある国、アイリリーのギルドの近くで空から落ちて来た少年。その少年こそが世界樹の危機を救うディセNDERだった。少年はギルドで仲間と出会い、世界を救う戦いへと身を投じる事になる…。

## 登場人物紹介（前書き）

この話はレディアントマイソロジー2と鋼鉄三國志、そして創作の三國志がごちゃごちゃになって出来ています。

テイルズキャラや鋼鉄三國志のキャラは、捏造が入ってたりします。

あと、ギルドに所属してないキャラ達は一応依頼者や敵として出て来るかも知れません。

## 登場人物紹介

### アドリビトムメンバー

陸遜りくそん

16歳

主人公であり、ディセンダーである剣士の少年。  
ひよんな事から空から落ちて来てカノンノに助けられる。  
まっすぐに争いを好まない優しい性格。

凌統りやうとう

12歳

ディセンダーの物語が好きで陸遜を「兄貴」と慕う盗賊の少年。  
いじっぱりで子ども扱いされると怒る。  
父は帝都ザーフィアスの騎士団長。  
幼少時代は親戚の家で育てられた。

諸葛瑾しよかつきん

29歳

アイリリーでギルド「アドリビトム」を営む怪しい男。元グランマ  
ニエ軍中尉。  
見かけによらず面倒見がいいがかなりちゃっかり者。  
2丁拳銃と回復術を操る。

甘寧 かんねい

22歳

ザーフィアスでエステル近衛兵として働いていた青年。エステルを守る事を生涯のさだめとし、ユーリをよく思っていない。弓術と強力な単体回復術を扱う。

呂蒙 りよもう

19歳

聖ガドリア国で騎士の息子として育てられたが気が弱いせいで周囲から白い目で見られていた双剣士。見かけによらず実力は確かで騎士の血をちゃんと引いている。家事全般が得意。

深秋 みしゅう

20歳

本作オリジナルキャラクター。凌統の姉でユーリの幼なじみ。おしとやかを絵に描いた性格だが意外と頑固でやきもちやき。強力な攻撃術と回復術を操る魔術士でナイフを投げて戦う。

カノン・エアハート

15歳

ヒロイン。

アドリビトムに所属する魔法剣士の少女で、育ての親とはぐれてギ

ルドに入る。

おとし話が好きでディセンダーの伝説を信じている。  
陸遜に様々な仕事を教えてくれる優しい性格。

ユーリ・ローウェル

21歳

匿ってもらった代わりにギルドに所属する剣士の青年。  
皮肉家でさばさばしてるが困っている人を放っておけない。  
深湊の幼なじみで彼女をからかって遊ぶのが好き。

ゼロス・ワイルダー

22歳

ふらふらと街を歩いていて諸葛瑾にヘッドハンティングされた魔法  
剣士の青年。

軽いノリで女の子が大好き。深湊に詰め寄るもいつも凌統とユーリ  
の妨害にあっている。

軽い反面、たまに真剣な眼差しになると周囲は驚く。

藤林すず（ふじばやしすず）

11歳

アワユキに住むくの一の少女。祖父の命でギルドに入った。  
普段は忍らしく無表情だが時折女の子らしい性格を覗かせる礼儀正  
しい女の子。

凌統と一緒にいる事が多い。

マオ

13歳

記憶喪失な魔術士の少年。明るく元気な性格で自作の歌をよく歌っている。

年が近いからか、凌統やずすとよく一緒にいる事がある。  
意外にもメンバーの中では常識人。

エステル

18歳

ユーリと一緒にやって来た治癒術士の少女。

礼儀正しく、頭がよい性格で少し世間知らず。

甘寧に治癒術を習っており甘寧は師でもある。自分よりも他人を優先してしまう。

セネル・クーリッジ

17歳

元々はマリントルーパーであつた格闘家の少年。無愛想に見られがちだが熱い性格。

ギルドへ来た理由は諸葛瑾がグランマニエの海軍から引つ張つて来たから。

一人でいる事が多いがエステルに若干振り回されている。

ここからは、流れの3人組と重要人物の紹介だけです。

## 流れの3人組

趙雲 ちょううん

25歳

見た目童顔な魔法剣士の男。物腰穏やかで至ってマイペース。のらりくらりとした喋りに翻弄される人は多い。

元ザーフィアスの騎士団所属でユーリとは顔馴染み。

馬超 ばちょう

18歳

故郷の復興のために賞金稼ぎをする格闘家の少女。

短気で口が悪いが典型的なツンデレっ子で男口調の俺女。

ユーリから「個性の塊」と言われ仲が悪い。

呂蒙にほのかな思いを寄せる。

馬岱 ばたい

24歳

馬超の従兄の聖騎士の男。飄々として、面倒見がいいが若干本能に忠実。

馬超と対象的にユーリとは仲がいい。

「岱兄」と馬超から呼ばれており馬超の事を可愛がっている。

細身だが怪力。

## 重要人物

ジエイド・カーティス

35歳

グランマニエ軍の大佐にして諸葛瑾の先輩にあたる譜術士。  
穏やかに見られがちだが鬼畜でえげつない性格。

時折アドリビトムに現れては助言したり手伝いに来てくれる人。

フレン・シーフォ

21歳

ユーリの幼なじみにして親友のザーフィアス所属の騎士。

真面目で規律を重んじるが、本音と規律の間で葛藤する悩みやすい  
性格。

深湊の幼なじみでもあり彼女の事を「湊ちゃん」と呼んでいる。

凌操  
りょうそう

享年35歳

深湊と凌統の父でザーフィアスの騎士団長を務めていたが陥れられ  
処刑されてしまう。

ユーリとフレンを養子に迎え入れ実の息子のように可愛がっていた。

以上です。

## 第1話 空から降って来たディセンドー？（前書き）

アドリビトムで依頼を無事済ませたカノンは、外で空から降って来た少年と出会う

## 第1話 空から降って来たディセクター？

ここは、世界樹が生み出す「マナ」の恵みにより人々が暮らす世界「グラニデ」。

そのグラニデにある大きくも小さくもない街「アイリリー」には小さな一つのギルドがある。

ギルドの名前は「アドリビトム」

創設者が怪しいと有名です。

「瑾ー、依頼無事終わったよ」

ギルド内へと小走りで少女が入って来る。

明るいピンク色の髪を揺らし、大きな瞳で受け付けにいる男に目を向ける。

受け付けに座って本に何かを書いている男は、視線を本から離さず少女に声をかける。

「お疲れさん、カノンノ。今日は依頼もうないから休んでいいよ」  
眼鏡を軽く上げ、再び書き始めた男は今まで受けた依頼やその結果を本にまとめているのだ。

カノンノは男の後ろへ回り込み本を除く。

「うわー、細かく書いてるね」

「そりゃ、それなりに依頼受けてるし細かく書いた方が何かあった時に便利だろ？」

振り返ると男の黒髪が揺れる。  
その顔は整ってはいるがどこことなく中性的な雰囲気醸しだしている。

男の名は、諸葛瑾と言う。

「あ、瑾。私散歩行って来るね」

「そうかい、行ってらっしゃい。暗くなる前にはお帰りよ」

諸葛瑾の言葉にわかっていると返事をするとかノンノは外へと出て行

った。

外へ出るとカノンノは、どの国からでも見える世界樹の方に視線を向けた。

前に比べて、ほんの少し枯れているような気がした。

ここ最近、人口の増加や新しい技術発展によりマナが減少している。

もしそうならば、カノンノが信じている世界樹が生み出す勇者 デイセNDER が現れる。

だがそれはおとぎ話だと言われ信じる者は少ない。

だがカノンノは信じていた。

必ず、デイセNDER が現れると。

その時だった。

急に物が落ちる音が後ろからした。

「な、何！？」

驚いて振り返るとそこには一人の少年が倒れていた。

腰に剣を携え、茶色の髪が印象的な少年だ。

目の前にいる少年を見てカノンノはどうしたらいいのかと慌てる。

「ど、どうしよう…。だ、誰かー！！」

人を呼ぶべく、カノンノはアドリビトムへと走って行った。

アドリビトム内にある個室のベッドにて、少年は目を覚ました。

辺りを見渡すと、カノンノと目があった。

「あ、よかった。目が覚めた？大丈夫？」

ゆっくり起き上がり辺りを見ると見知らぬ部屋。  
簡素な作りでベッドとソファ、机だけがある。

少年はカノンノを再び見る。

「君は…？」

「私？私はカノンノ。カノンノ・イアハートよ。貴方は？」

「陸遜」

陸遜と名乗る少年にカノンノは興味深々という様子で陸遜を見る。

「貴方、どこから来たの？」

「…わからない」

「じゃあ…家族は？」

「…わからない」

わからないとしか言わない陸遜にカノンノは頭を悩ます。

「んー…記憶喪失…なのかな？」

カノンノが首を傾けると、陸遜は不思議そうにカノンノを見る。

「瑾に聞いた方が早いかな?…よし、陸遜。一緒に行こう」

そう言うとカノンノは陸遜の手を引いて部屋を出る。

「記憶喪失…ねえ」

受け付けまで引つ張って行き諸葛瑾に経緯を話すと諸葛瑾も考えこんでしまった。

「記憶喪失じゃ、行くあてがないだろうね。どうしたもんか…」

「だったら!」

カノンノが諸葛瑾に詰め寄る。

「アドリビトムにいてもらおうよ!もしかしたら、ディセNDERかも知れないよ!」

どうやらカノンノは陸遜をディセNDERだと思っているようだ。

諸葛瑾は陸遜を頭の先から足の先までくまなく見る。

「見た所剣も持ってるし、戦う事は出来そうだね。いいだろう、おいてあげるよ。ここ、小さい割りに仕事多いから人手がいるのさ。カノンノ、仕事教えておやり」

「うん！よかったね、陸遜」

「うん。ありがとうございます」

諸葛瑾の承諾も無事得る事が出来、陸遜はアドリビトムのメンバーとなった。

諸葛瑾にお礼を言うと、カノンノは「他のメンバーも紹介してあげる」と陸遜の手を引いて行ってしまった。

残された諸葛瑾は頼杖をついてぼんやりと本を見た。

「ディセクター、ねえ…。あの子がディセクターなら…きっと…」

意味深な事を途中まで言って諸葛瑾は再び書いている本を開いた。

続  
く

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0748i/>

---

レディアントマイソロジー 2 ～小さなギルドの物語～

2010年10月22日00時58分発行